水を仕事にする魅力、やりがい

暮らし支える整備に従事

足立建設工業
インフラ整備部
小澤 拓馬さん

■工事現場の安全を管理

足立建設工業は、水道の配・給水管や下水道管の管路工事を中心に上下水道のインフラ整備を担う、創業110年の老舗企業です。

今年で入社4年目となり、現在はインフラ整備部の水道チームに在籍しています。水道事業者である自治体の水道局などから、水道管の新設や老朽管の布設替えをはじめとする工事を受注し、工事現場の工程管理や安全管理、品質管理、近隣住民らへの配慮、現場作業員のマネジメント、書類作成など、工事全体をコーディネートする「施工管理」の仕事を担当しています。

重機の操作や工具・機材を扱う作業などは、協力会社が行うため、現場作業員の方たちとのコミュニケーションが重要となります。作業員の方は工程を把握しています が、狭小道路での作業の際など、朝礼の時に工程を再確認するなど安全管理を徹底しています。

工事現場の近隣の方への配慮も必要不可欠であり、最低でも1～2週間前には工事のお知らせをすることに加え、直前にもお伝えするようにするなど、丁寧にご説明をして、できるだけご不便をかけないように心掛けています。人々の暮らしを直接支えるインフラ整備に携われるところが大きな魅力であると感じています。

■充実した研修制度

大学は理系の専攻ではなかったため入社前は不安もありましたが、当社に勤務している中学時代の先輩から、インフラ整備の仕事のやりがいを聞いていたため、私自身、熱い思いを持って入社しました。入社後1年間の研修期間があり、さまざまな部署の仕事をジョブローテーションによって経験するため、私のように上下水道の知識がない状態で入社した人でも、着実にステップアップすることができます。分からないことは、先輩社員たちが丁寧に教えてくれるため、モチベーションにつながっています。資格取得の勉強会なども開催しており、現在は国家資格の2級土木施工管理技士の取得を目指しています。

また、当社にはサークルのような活動があり、社員同士の交流も活発に行われています。野球やフットサル、釣り、ゴルフなど、共通の趣味を楽しむことができます。会社全体で働き方改革にも取り組んでおり、現場も都内で転勤もないため、自分の趣味にも時間を費やすことができる点も魅力であると感じています。

学生の皆さんには出身学部などを気にせず、自分のやりたいことを軸に就職活動を行ってほしいと思います。インフラ整備に興味のある方の入社をお待ちしています。

共に成長していける環境

ヴェオリア・ジェネッツ
御殿場営業所 業務係
黒﨑 綾乃さん

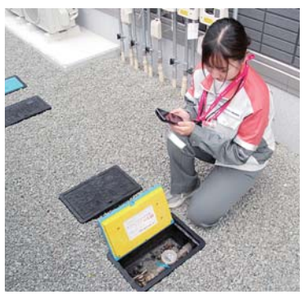
■理想的な条件下で業務を

学生時代は保育士になるための勉強をしており、卒業後は保育士として働いていました。しかし、将来を見据えた時に、土日祝日が休日であり、産前・産後休業、育児休業を取得できるところで働きたいと思い、就職活動を始めました。その中でヴェオリア・ジェネッツと出会い、理想としている部分が全て叶えられると感じたことが、入社したきっかけです。

■丁寧にお客さまと向き合う

当社には、今年の4月半ばに入社しました。以来、主に料金徴収業務に従事しています。水道料金のお支払いが難しくなる理由はさまざまですが、以前あるお客さまから「期日までの支払いが難しい」というご相談を受けたことがありました。その時は、お客さまに寄り添うという観点から期日を延長し、お支払いをお待ちすることになりましたが、期日までに入金の確認は取れず、その約束は履行されませんでした。しかし、その後も継続的に対応を続けることで、無事にお支払いいただくことができました。お客さま対応において自分自身の成長を実感でき、自信にもつながった経験でした。今後もお客さまに寄り添い、信頼を得られるよう努力したいと思います。

料金徴収のほか、御殿場市全域を対象として、水道の開閉栓、検針や窓口の各種受付、電話対応も行っています。現場作業は大変と思われることもありますが、それほど体力勝負というわけではありません。現場は1人で回っていますが、分からないことがあれば、その場ですぐに上司や同僚に連絡をして確認することができるフォロー体制が整っています。お客さまと接する際は、市からの委託を受けている立場として正しい情報をお伝えしなければならないので、言葉や話し方には細心の注意を払うよう心がけています。自分のお客さま対応や伝え方が適切なのかどうか、不安に感じることもまだありますが、そのような時はすぐに先輩社員に確認した上で対応するようにしています。先輩からお声がけいただくことも多く、話しやすい雰囲気があります。入社以前は全く未知の業界ではありましたが、1人で対応できる範囲が広がってきており、成長を実感し、やりがいを感じています。



■将来を見据えた成長環境

当社は、ワークライフバランスが充実しており、自分の声にも耳を傾けてもらえる職場です。女性に限らず男性も育児休業を積極的に取得しており、将来的に長く働ける会社だと考えています。また、職務階層やスキルに応じたさまざまな研修があり、最初は水道に関する知識がなくても、つまずくことなく理解を深めることができます。全国の営業所の社員と交流する機会もあるので、同じような悩みを話し合い、共に成長していける環境があります。水道に興味のある方だけではなく、やりたいことを探している方も、当社に興味を持っていただければと思います。

次につながる経験生かし

ウォーターエージェンシー
茨城オペレーションセンター
松本 朋也さん

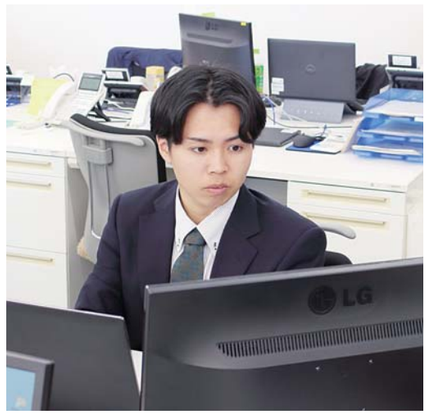
■「水に関わる仕事がしたい」

ウォーターエージェンシーは、水インフラに関わる公共施設の運営管理のほか、水に関連するさまざまな事業を行っている会社です。

私は生物系志望で進学し、大学時代は生命環境科学科で学びを深めました。就職活動を始めた当初は、漠然と化学関係の仕事に就きたいと考えていたのですが、次第に「水に関わる仕事がしたい」という思いが芽生え、縁あってウォーターエージェンシーに就職を決めました。

入社してからは、半年間ほどの新人研修を受けた後、東京都新宿区にある本社の水再生ネットワークセンターに配属となりました。当社が運営管理を担う全国の処理場における水質トラブルに対応することが主な業務でした。そこで1年半ほど勤務した後、茨城県内の下水処理場に配属となりました。ここでは水質管理のみならず、処理場全体の運営管理に携わりました。

現在は、茨城オペレーションセンターで営業職として勤務しています。本格的に営業を始めて半年足らずなので、今はまだ自分なりのやり方を模索していますが、少しずつ見つけられてきたかなと感じているところです。



■上司の背中から得た学び

入社2年目に水再生ネットワークセンターで勤務していたころ、とある関東の処理場に1～2カ月赴任したことがありました。そこで水処理に関わるトラブルがあり、上司の指示を受けながら対応に当たっていたのですが、しっかりとした情報を上司に伝えることができず、トラブルを解決することができませんでした。その後、上司が現場に来てくれてトラブルは無事解決したのですが、その姿を見た時に上司の経験値に感動しましたし、「自分もそうならなくてはならない」「このような失敗は繰り返してはいけない」と強く思いました。これは私にとって、その後につながる貴重な経験となりました。

■自分の時間を大切に

学生の皆さんに伝えたいのは、自分の時間をしっかりと持てる環境で働くことを大切にしてほしいということです。私生活に余裕がないと仕事にも余裕がなくなっていきますので、長く仕事を続けるためには必要なことだと思います。

当社は時期や役職にもよりますが、残業がほとんどないので、プライベートの時間をしっかりと確保することができます。社内全体でコンプライアンスを遵守する意識も強く、社員一人ひとりに真摯に向き合ってくれるので、私自身ここで頑張ろうと前向きな気持ちで日々を過ごすことができています。

TJTM 月島ジェイテクノメンテサービス株式会社

みずから、これから。
TJAS 月島JFEアクアソリューション株式会社
月島ホールディングスグループ